



市の人口	〈2月末現在〉
人口	480,692人 (-127)
男	233,129人 (-94)
女	247,563人 (-33)
世帯数	168,422 (-103)
住民基本台帳による。()は前月比	



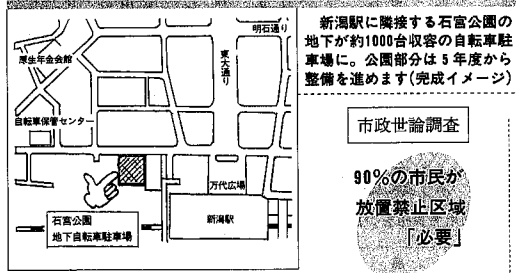
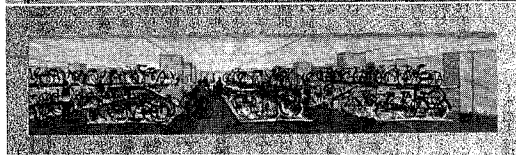
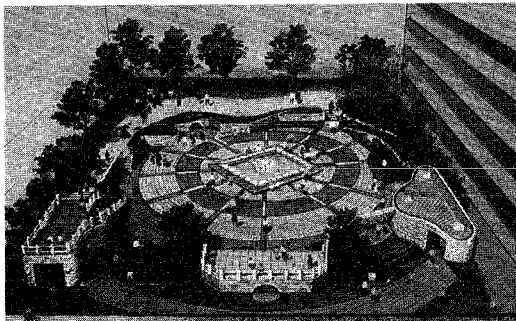
6月(仮)完成予定のC-11号棟

石山団地 建て替え事業が完了

石山団地は、五月に完成予定のC-11号棟(十一階建て)を最後に、建て替え事業を終了させ、同団地の建て替え事業は、昭和六十一年にスタート。住環境整備、高齢者への配慮、商店街づくりなどを基本に、地域に開かれた団地づくりを進めてきました。八カ年におよぶ事業では、土地の高度利用を図るため高層住宅を四棟建設し、戸数も三百二十戸から四百四十八戸に増加。入居開始は六月一日の予定。中には、数層の段差を解消するなど高齢者に配慮した部屋も含まれています。また、同団地には保健・福祉サービスが受けられ、地域交流の拠点となるコミュニティセンター「シルビア」も整備されています。

石山団地は、五月に完成予定のC-11号棟(十一階建て)を最後に、建て替え事業を終了させ、同団地の建て替え事業は、昭和六十一年にスタート。住環境整備、高齢者への配慮、商店街づくりなどを基本に、地域に開かれた団地づくりを進めてきました。八カ年におよぶ事業では、土地の高度利用を図るため高層住宅を四棟建設し、戸数も三百二十戸から四百四十八戸に増加。入居開始は六月一日の予定。中には、数層の段差を解消するなど高齢者に配慮した部屋も含まれています。また、同団地には保健・福祉サービスが受けられ、地域交流の拠点となるコミュニティセンター「シルビア」も整備されています。

4月1日オープン 石宮公園地下自転車駐車場



駅周辺の乱雑に置かれた自転車、自転車。歩道や車道にまはみ出して、景観を損ねるばかりでなく通行の障害にもなり、地震や火事などの際には大変危険です。これらの対策として、今度市で長期放置自転車の撤去などを行っています。このほ

ど、新潟駅前の万代広場西側公園を利用して、県内の地下式を導入して建設、スロープを使って地下に下り、九百六十七台の自転車を収容する。上層は公園部分に憩いの場として利用できるように整備していきま

利用案内
一時利用料金 一日一回百円
定期利用 利用希望月七日前から、午前九時午後四時に管理入室で受け付けられます(四月分は三月二十九日から三十一日まで受付)。料金は一般月二千円(学生は千円です。問い合わせ 土木管理課 2926番)

市政世論調査

90%の市民が
放置禁止区域
「必要」

市民千人に聞く市政世論調査でも、平成元年に放置自転車問題をテーマとして行っており、多くの人がこの問題に迷惑しているという結果が出ました。とりわけ「駅周辺や道路路上の放置自転車防止のために放置禁止区域を設ける」という考えには、九〇%以上の人が一禁止にすべきだと回答しています。

放置自転車は新潟駅だけでなくそのほか多くの駅でも問題になっています。五年度は現在建設中の内野駅前の市営住宅の一階に、駅利用者などのために四百七十四台収容の自転車駐車場を整備する予定です。まちの玄関口、である駅周辺から放置自転車をなくすため、これらの自転車駐車場をぜひご利用ください。

平成5年度予算特集号
本日発行

4月1日～7日は
春の火災予防運動

火災が発生しやすい季節を迎え、消防局では四月一日から七日まで「春の火災予防運動」を実施します。今回は、点火を重んじて、火災ゼロをスローガンに、市民で運動をくり広げます。なお、同運動に先立って、三月二十五日午前十時十分、ホテルリリア軒(西通七)を対象に放水、避難などの消防訓練を実施するほか、四月一日午後零時半から一時半まで万代ンテいで消防指導隊による演奏

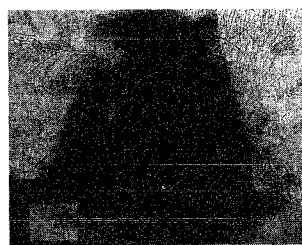
4月から
消防出張所に
窓口開設

消防局では、四月一日からこれまでの消防要本署に加え、市内十八カ所の消防出張所に、

- 市役所・市教育委員会
☎228-1000 (代表)
- 野球場・テニスコートの申し込み 266-8111
 - 園芸センター 286-1034
 - 東保健所 243-5311
 - 石山地区保健センター 286-4450
 - 鳥屋野地区保健センター 285-2373
 - 北地区保健センター 259-7332
 - 西保健所 286-5171
 - 西地区保健センター 262-3405
 - 坂井輪地区保健センター 260-3255
- 休日診療(市医師会・県歯科医師会)
休日急患診療センター 228-2822
休日歯科診療センター 283-3030

市美術館

「新収蔵品を中心に」から 今週の一点①



小笠原則彰(おがさわらのりあき)
「線の分折-パベルの塔から」1992

この作品は4月18日まで同館で展示中

開催中の常設展の作品を一年にわたって紹介します。一九六二年には愛知県生まれの小笠原を、現在は中野大学大学院を修了、現在は中学校の美術教育にも携わっている。写真の作品は、昨年四月、長年にわたりが国の新進作家の発掘と育成に貢献している現代日本美術展で大賞に受賞した作品です。同時に受賞した新潟市美術展賞を、ベニヤ板に顔料を混ぜた石こうを塗り、ドラムなどで引っかき、さらに彫り出しした線。その集積は、猛烈なスピードの回転が生み出す幻影のように見えます。旧約のバベルの塔の物語に、文明の過信の相を対照させた表現といえます。(市美術館)

「新収蔵品を中心に」から
今週の一点①

電話案内

所でもたき火の届け出、消防用設備の点検報告、消防訓練の通知など、法令で義務のある届け出の受付窓口を開設します。どうぞご利用ください。問い合わせ 西消防署予防課 (223-319) 東消防署予防課 (275-911)

菊作り講座
日時 4月4日、6月6日、8月1日、9月26日午後1時半～3時半
会場 園芸センター
内容 基本作業から開花まで
定員 先着50人
申し込み きょう28日から電話で会場へ

建築許可申請手数料を改定
4月1日から建築許可申請手数料が、次のとおり改定となります。
・仮設建築物許可申請 ……110,000円
・仮使用承認申請 ……110,000円
・浜茶屋など季節的建築物許可申請 ……17,000円
・このほかの建築許可申請 ……150,000円
問い合わせ 建築指導課(☎内線3053番)へ

公益事業サービスコーナーを開設
郵便の移動手続が市役所市民ロビーでできます。問い合わせ 市民課へ